

四万十市立中筋中学校における出前講座を開催しました ～中筋川における外来種等について説明～

■四万十市立中筋中学校では、生徒自らが課題を発見し、その解決策を考える総合学習の授業に取り組まれており、今回中筋川の外来種について学ぶことになりました。そこでこの度、当事務所に出前講座の依頼をいただき、以下のとおり開催いたしました。

■日時：令和3年10月1日（金）11：40～12：30

■場所：四万十市立中筋中学校

■相手：1年生6名（教員3名）

■当方：中村河川国道事務所計画課

■概要：

- ・はじめに生徒の皆さんから、中筋川の課題を複数抽出して議論した結果、外来種について学ぶことになったと説明いただきました。
- ・次に当事務所から、「河川水辺の国勢調査」で確認された中筋川における外来種や重要種について紹介しました。また、「特定外来生物」に指定されているオオキンケイギクやオオフサモは渡川水系でもよく確認されており、駆除が大変で河川管理上の負担になっていること等を説明しました。
- ・その後の質疑応答では、生徒の皆さんから次々に質問が飛び出し、外来種や中筋川の自然環境について積極的に学ぼうとする姿勢が強く感じられました。以下に主な質疑応答の内容をご紹介します。

◇外来種に対して自分たちができることは何でしょうか。

←外来種を飼育・栽培する時はその生物についてよく調べた上で最後まで世話をして下さい。また、野外で外来種を見つけても別の場所に持っていかないようにして下さい。

◇人に直接被害を及ぼす外来種は確認されていますか。

←人が命を落とすほどの危険生物は現在確認されていませんが、大量繁茂した外来種の植物が河川管理施設に悪影響を及ぼさないように気を付けています。

◇中筋川の自然環境を守るために自分たちができることは何でしょうか。

←中筋川を含む渡川水系には多くの生物が見られる環境がたくさん残っています。皆さんはこのような素晴らしい場所に住んでいるということを知っていただき、皆さんの周りの人にも伝えていって欲しいと思います。



上:生徒の皆さんからの説明



上:当事務所からの説明



上:質疑応答

